

第4節 千葉県の基礎データ

1 人口構造

(1) 総人口

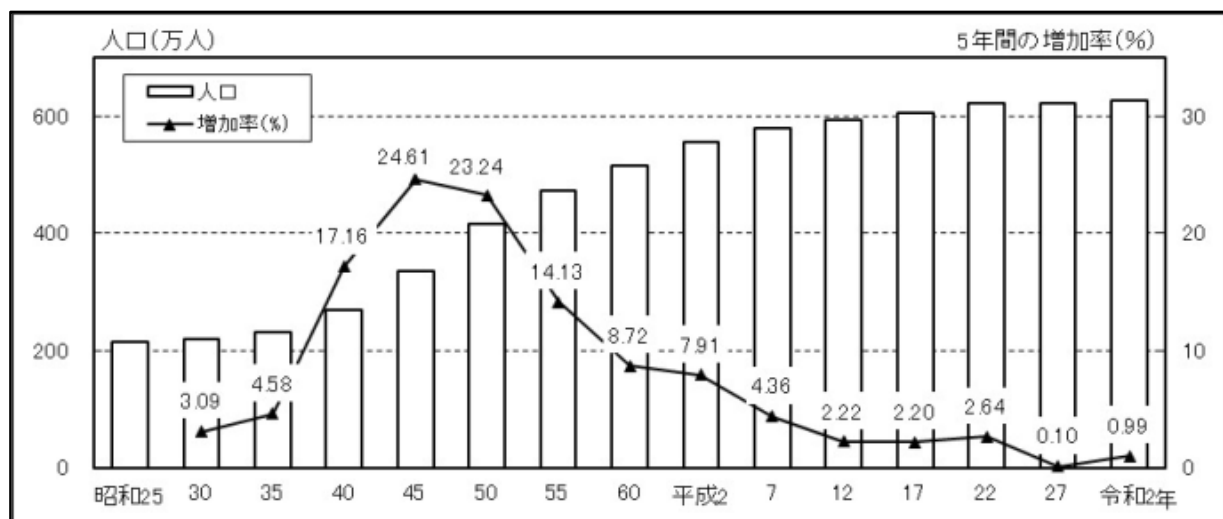
令和2年の国勢調査によると、本県の人口は6,284,480人となり、全国第6位の人口規模の大きさとなっています。

前回調査時（平成27年）よりも全国の人口は0.75%減少しているところ、本県の人口は0.99%増加しており、これは全国第5位の増加率の高さとなっています。

人口集中地区には4,823,612人（構成比76.8%）があり、全国平均（70.0%）に比べると、人口集中地区における人口の占める割合が高くなっています。

人口密度は、1平方キロメートル当たり1,218.5人で全国の人口密度338.2人を大きく上回り、高い順では全国第6位となっています。

図表 1-4-1-1 人口及び人口増加率の推移



資料：「国勢調査（総務省）」を基に作成

(2) 年齢階級別人口

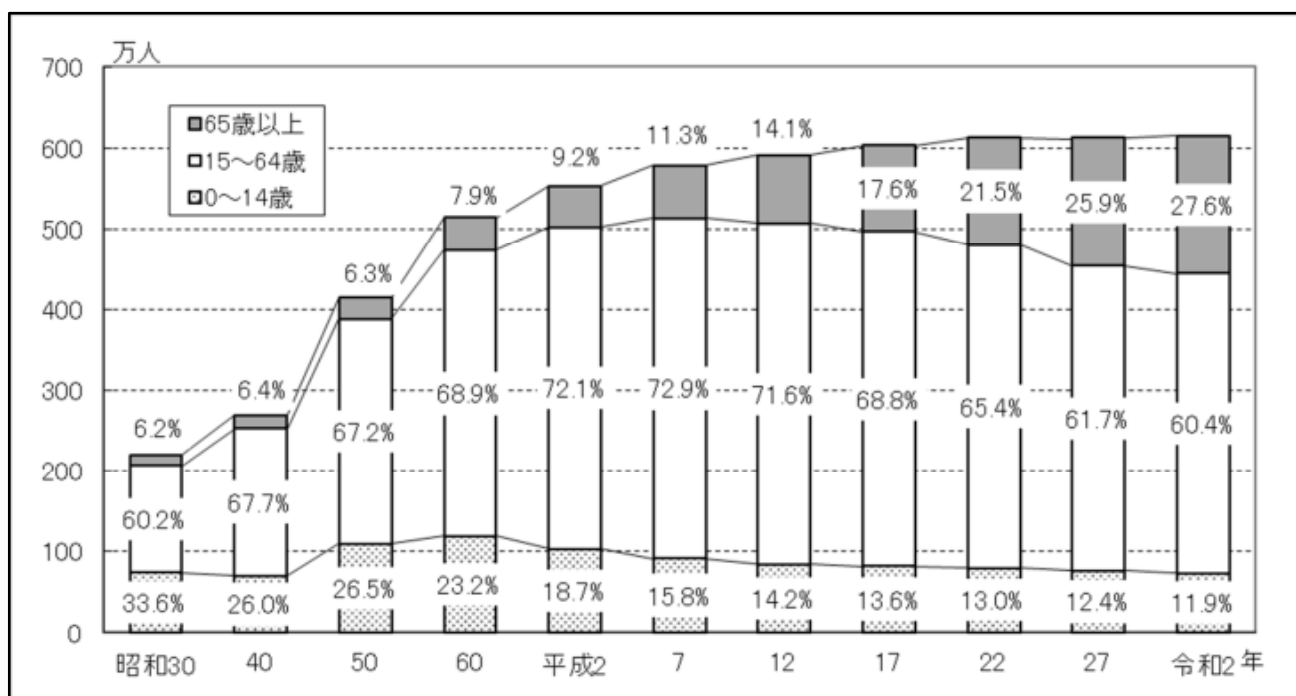
令和2年の国勢調査をもとに本県の人口を年齢により3つに区分してみると、年少人口（0～14歳）は734千人、生産年齢人口（15～64歳）は3,715千人、老年人口（65歳以上）は1,700千人で、総人口（年齢不詳分を除く。）に占める割合は、それぞれ11.9%、60.4%、27.6%となっています。

全国の年齢3区分割合（12.1%、59.2%、28.7%）と比べると、生産年齢人口の割合が若干上回り、年少人口及び老年人口の割合が若干下回っています。

年齢3区分別の人口の割合の推移をみると、年少人口の割合は昭和50年以降一貫して減少しています。また、生産年齢人口の割合は昭和50年以降上昇していましたが、平成7年をピークに減少に転じました。

これに対し、老年人口は昭和50年以降一貫して上昇を続けており、平成17年からは年少人口の割合を上回りました。

図表 1-4-1-2 年齢3区分別人口の割合の推移



※ 年齢3区分別人口については、年齢不詳を除き、構成比は人口総数に対する割合

資料：国勢調査（総務省）

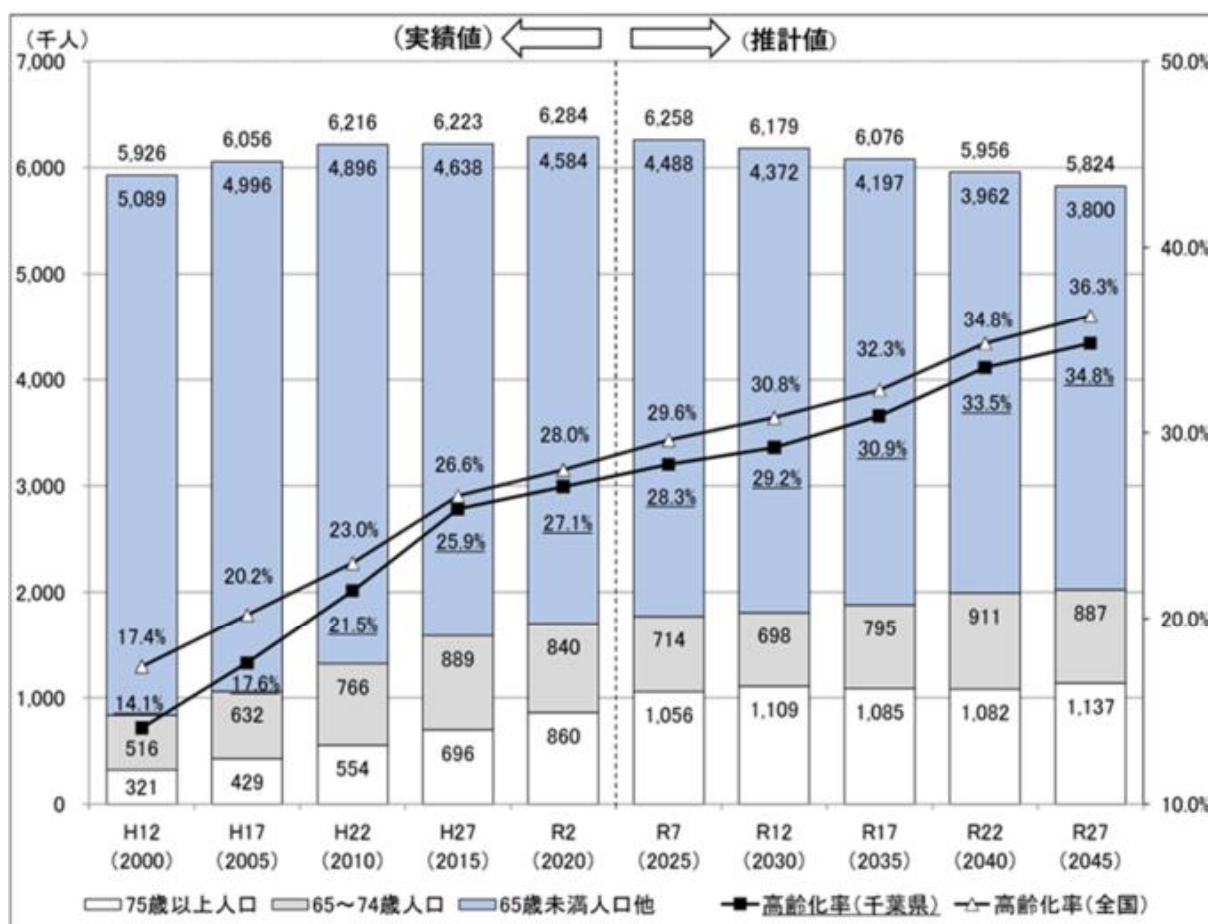
(3) 高齢化

令和2年の本県の総人口は約628万4千人で、平成27年時点より約6万1千人増加していますが、65歳以上の高齢者人口は過去最高の170万人で、平成27年時点より約11万6千人増加しました。

このように、令和2年の本県の高齢化率は27.1%となり、年々全国平均との差は縮まってきています。

また、本県の人口は減少に向かうことが予測されており、令和2年時点の約628万4千人から約63万8千人が減り令和22年に約564万6千人となる一方、65歳以上の人口は令和2年時点の約170万人から約27万3千人増加し197万3千人になると見込まれています。

図 1-4-1-3 千葉県の高齢化の状況の推移



※令和2年(2020年)以前は総務省統計局「国勢調査結果」による実績値。なお、不詳補完後の令和2年(2020年)高齢化率は27.6%。

※令和7年(2025年)～令和27年(2045年)は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」による推計値。四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

図 1-4-1-4 人口及び高齢化率の推移と将来推計(千葉県)

(単位: 千人)

	総人口	高齢者人口			高齢化率
		65歳以上	65~74歳	75歳以上	
平成17年(2005年)	6,056	1,060	632(10.5%)	429(7.1%)	17.6%
平成22年(2010年)	6,216	1,320	766(12.5%)	554(9.0%)	21.5%
平成27年(2015年)	6,223	1,584	889(14.5%)	696(11.4%)	25.9%
令和2年(2020年)	6,284	1,700	840(13.4%)	860(13.7%)	27.1%
令和7年(2025年)	6,258	1,770	714(11.4%)	1,056(16.9%)	28.3%
令和12年(2030年)	6,179	1,807	698(11.3%)	1,109(17.9%)	29.2%
令和17年(2035年)	6,076	1,880	795(13.1%)	1,085(17.9%)	30.9%
令和22年(2040年)	5,956	1,994	911(15.3%)	1,082(18.2%)	33.5%
令和27年(2045年)	5,824	2,024	887(15.2%)	1,137(19.5%)	34.8%

※出典等は上記(図1-4-1-3)と同じ。

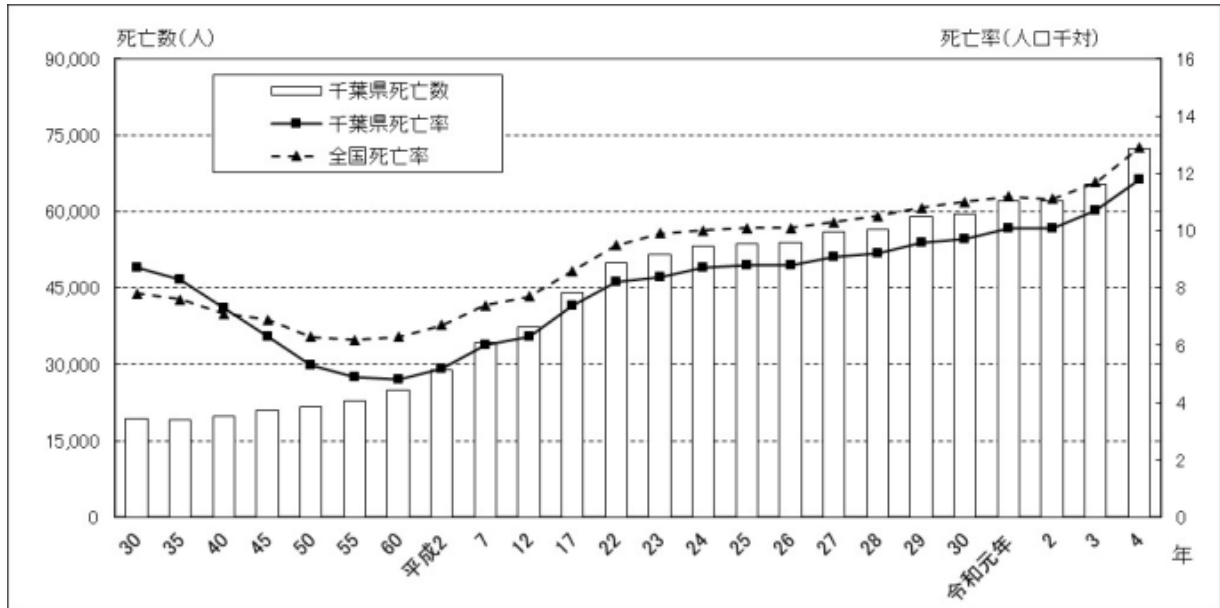
※65~74歳、75歳以上の()内は、総人口に占める割合。

2 死亡数と死亡率の推移（全体）

(1) 死亡数・死亡率（全体）

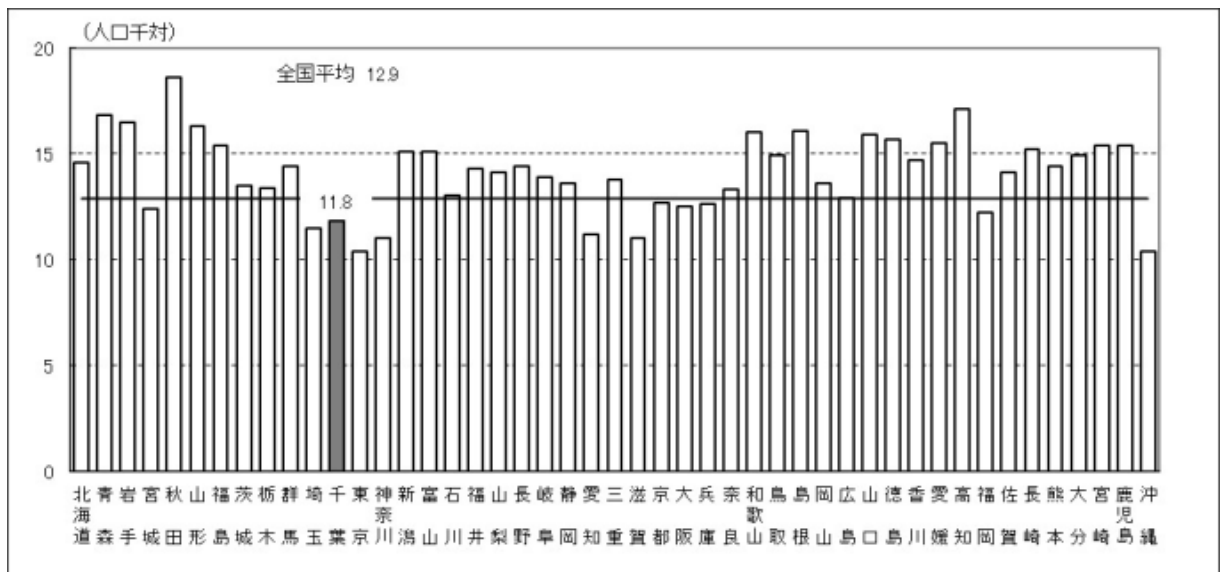
循環器病によるものだけでなく、すべての死因を含めた本県の死亡数は長期的には増加傾向で推移しています。令和4年の死亡数は72,258人で令和3年（65,244人）より7,014人増加しています。令和4年の死亡率（人口千対）では、11.8で全国平均の12.9に対し1.1ポイント低く、全国第41位と比較的低い順位になっています。

図表 1-4-2-1 死亡数と死亡率の推移



資料：人口動態調査（厚生労働省）

図表 1-4-2-2 都道府県別死亡率



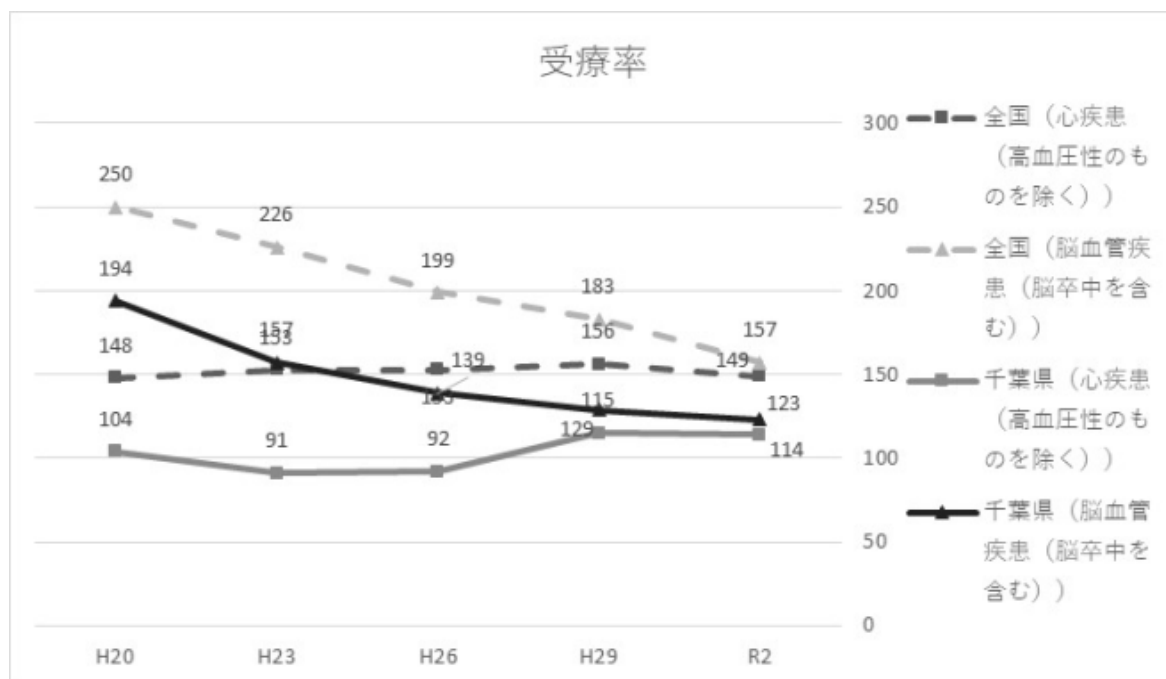
資料：令和4年人口動態調査（厚生労働省）

3 受療率（全体）

(1) 受療率（全症例）

人口規模を調整した上での患者の状況がわかる受療率*（人口10万人対）をみると、全体的には全国・千葉県ともに増減はあるもののほぼ横ばいとなっています。（データの出典は、一部の医療機関を対象とした調査によるものであるため、データの取り扱いには注意が必要です。）

図表 1-4-3-1 受療率（全体）



資料：患者調査（厚生労働省）

4 健康寿命

健康寿命とは、一生のうち、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。

平均寿命と健康寿命の差の期間は日常生活に制限のある期間と言えます。

令和元年の千葉県の健康寿命は男性72.61年、女性75.71年となっています。全国は男性72.68年、女性75.38年であり、千葉県の全国順位は概ね中位であり、男性が27位、女性が21位となっています。

一方で、令和2年度の千葉県の平均寿命は男性81.45年、女性は87.50年となっています。

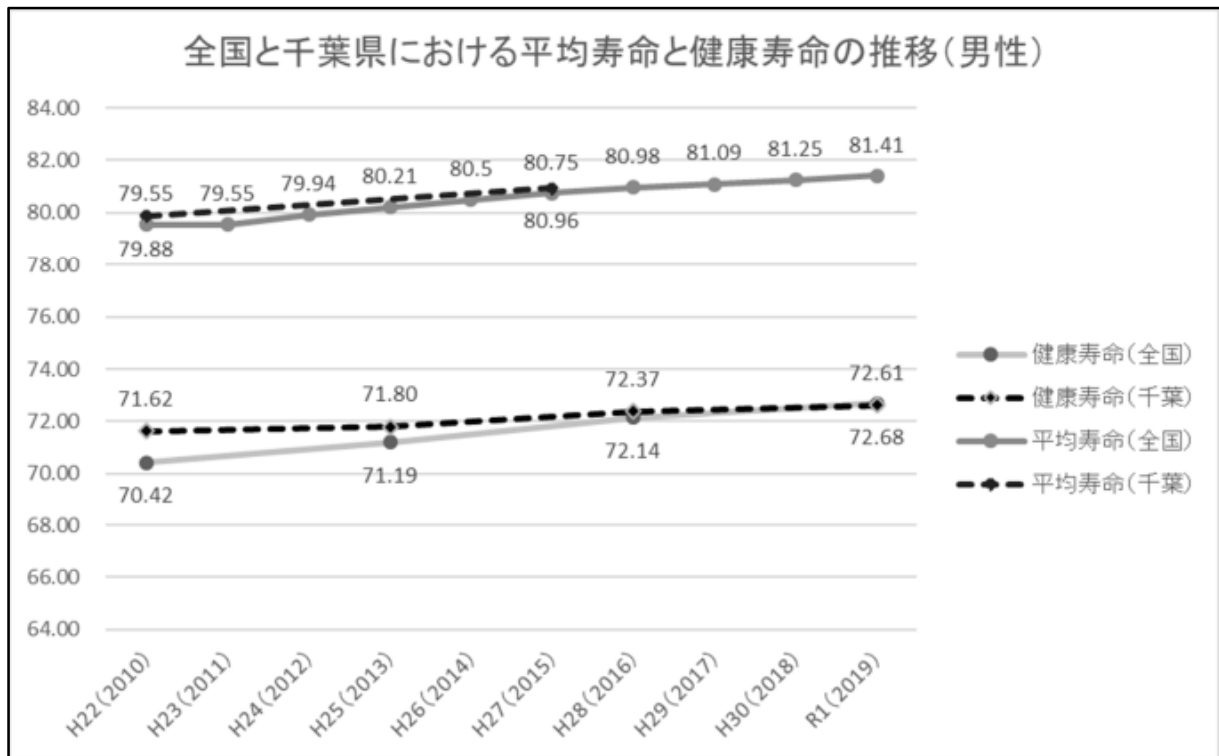
全国平均は男性81.49年、女性87.60年であり、千葉県の全国順位は男性が23位、女性が30位と健康寿命と同様に概ね中位となっています。

全国のデータでは、令和元年度のデータにより平均寿命と健康寿命の差を算定することができ、男性は8.73年、女性は12.07年です。

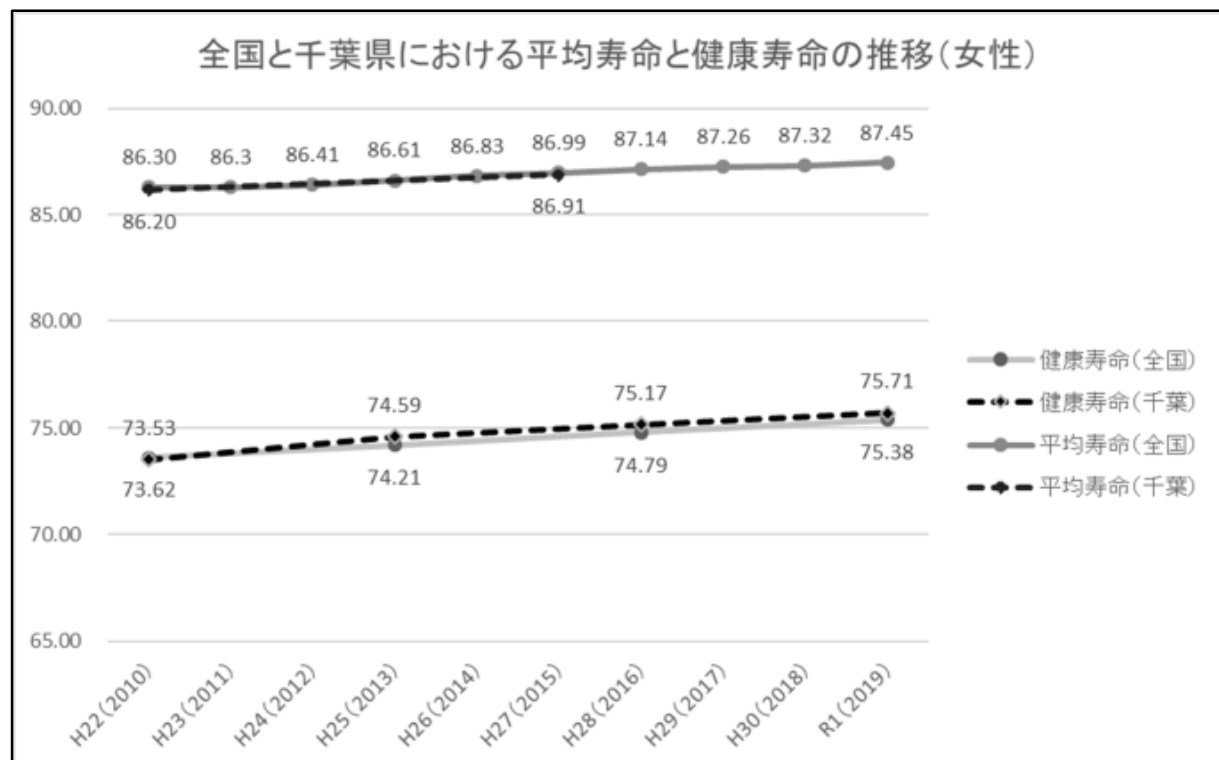
都道府県別データは直近データが平成27年度となりますが、本県での平均寿命と健康寿命の差は男性が8.59年、女性が11.74年です。

平均寿命の延伸が見られる中、健康寿命を延ばしていくことが重要です。

図表 1-4-4-1 全国と千葉県における平均寿命と健康寿命の推移（男性）



図表 1-4-4-2 全国と千葉県における平均寿命と健康寿命の推移（女性）



資料：平均寿命：令和元年千葉県衛生統計年報

健康寿命：厚生労働省「第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会」